

2008年9月17日

VOL. 22

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

海外コーディネーターをご活用ください！

簡易な問合せは無償です

(財)鳥取県産業振興機構では、県内企業の皆様の海外ビジネス支援体制強化のため、台湾と上海にコーディネーターを配置しております。毎号本誌に掲載している各コーディネーターのビジネスレポートでは、現地の最新情報を分かり易く紹介しています。

ビジネスレポートによる情報提供のほか、県内企業からの簡易な問合せ対応や、現地情勢の概要説明は無償で行います。商談斡旋や現地同行など個別具体案件についても、当財団が取り次ぎの上、コーディネーターと有償で個別に契約ができます。

「自社製品を台湾へ売込みたいが、市場性があるか分からない」「上海にはどのくらいの日本食料店があるのか」などの簡単なお質問でも結構です。まずは、お気軽に当財団海外支援グループ（電話：0857-52-6703）へご相談ください。

《台湾コーディネーター》

富田 恭敏（とみた やすとし）

日本法人：(株)SNARK
代表取締役最高執行責任者

台湾法人：SNARK Asia Co., Ltd.

本社所在地：

台湾台北市中山区長春路172号7F-5

電話：+886-2-2516-6806

FAX：+886-2-2516-9806

東京事務所：

東京都台東区寿2-10-11 6F

電話：03-5246-7561

FAX：03-3847-5430



プロフィール

日本にてJTグループ、日本通運グループの物流システムコンサルタントを手がける。これを機に、2001年より台湾ペリカン便のシステム顧問となる。2005年10月スナーク台湾現地法人を設立。宅配インフラが完成したことで、システムインフラを利用・付加した新しい台湾流通ビジネスを開始。台湾進出希望の日本企業・自治体支援を目的とし、日本の優れた商品を売るためのネットショップを開店したり、各種展覧会を台湾で開催支援し、コンビニなど各チャンネルに紹介・販売をしている。

平成19年5月より、鳥取県産業振興機構台湾コーディネーターを務める。

《上海コーディネーター》

孫 光（そん こう）

日本法人：(株)チャイナワーク
代表取締役社長

中国法人：上海桜葉商務信息諮詢有限公司

本社所在地：

東京都新宿区新宿2-4-9中江ビル3F

電話：03-3352-3455

FAX：03-3358-4828

上海駐在事務所：

中国上海市長寧区延安西路
1088号長峰中心705、706号

電話：+86-21-6207-6687

FAX：+86-21-6207-6640



プロフィール

1949年中国黒龍江省出身。75年黒龍江大学卒。中国対外経済貿易部勤務を経て、80年駐日中国大使館外交官として商務処に勤務。84年に退官、86年東京経済大学経営修士課程を修了。同年、竹中工務店国際部勤務。92年(株)中国経済情報センター専務取締役を経て、98年(株)チャイナワーク代表取締役に就任、現在に至る。日本滞在25年、日中両国の事情を熟知したコンサルティングに定評。東伯郡湯梨浜町の中国庭園「燕趙園」の建設に関わるなど、以前より鳥取県との縁がある。

平成20年4月より、鳥取県産業振興機構上海コーディネーターを務める。

目次

海外コーディネーター P 1
をご活用ください！

現地発！ P 2
台湾月刊レポート⑮

最新の上海 P 3
～現地レポート～⑥

第4回中国吉林・北東 P 4
アジア投資貿易博覧会
出展の報告

世界の祝日～10月～

- 中国 9/29日～10/1日 建国記念日
- 香港 1日 国慶節
7日 重陽節
- 韓国 3日 建国記念日（開天節）
- シンガポール 1日 断食明け大祭
28日 ヒズメー灯明祭（予定）
- インドネシア 1～2日 断食明け大祭
- タイ 23日 フェロークン大王祭
- 米国 13日 コロンブス記念日

出所：ジェトロ通商弘報
「世界の祝祭日2008年版」から

現地発！台湾月刊レポート⑮

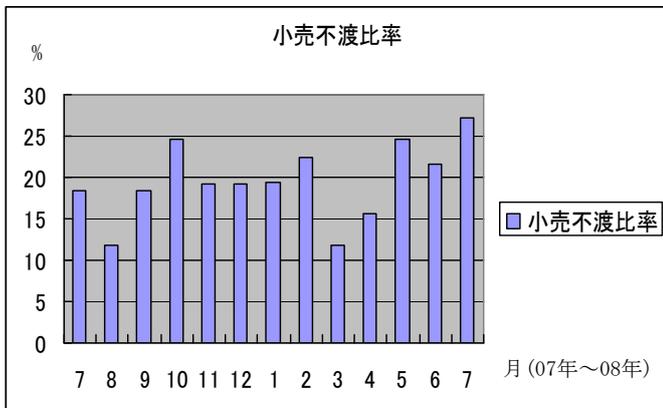
台湾消費不振、小売業の不渡り激増。しかし・・・

台湾の消費マインドが悪化している。「小売・卸」冬の時代について報告する。中央銀行が発表した7月の不渡りの中で、「小売・卸」が27.2%を占めた。これは、2004年2月以降で、一番悪い数字である。一方、お金持ちは・・・。

■「小売・卸」セクターの不渡りが前年比10%増！

馬英九国民党政府になって100日。景気の青信号が消え、景気悪化モードに突入した。特に民間消費の下降がひどい。消費者景気判断指数も55.84ポイントと歴史的な低下に見舞われた。消費者は、悲観論に陥り、その衝撃は「小売・卸」セクターに、衝撃を与え始めた。7月になって、輸入物価が上昇しており、それに伴って「小売・卸」セクターの不渡りが増えている。消費者マインドの低下、購買力の低下、営業収入が、輸入価格上昇に追いつかない。まさに経営危機モードに達した。

例えば、先日の交通部調査で台湾のタクシー運転手は、実質手取りがガソリン代などの諸経費を引いた収入が1カ月で21,000元。時間あたりたったの77元(270日本円)で、これは、なんと台湾マクドナルドのアルバイトの95元(330日本円)より低いのだ。しかし労働時間は、1日10時間以上にも及ぶ。これで、生活できるのであろうか。これを見ても購買を削っていることがわかる。



そして注意すべきは「小売・卸」の不渡り総金額が増えていること、一方、不渡り枚数が減っていること、つまり一枚当たりの金額が増えていることだ。これは、小規模小売・卸から、中規模小売・卸への大型倒産が増えてきたことに他ならない。今までは、不渡りといえば、製造業であった。しかし「小売・卸」セクターの率が増えてきたことが、現在の特徴だ。前年比で10%も増加しているのだ。不渡り額が1億台湾元(3.5億日本円)以上は、大型倒産に分類される。2008年7月の大型倒産は、21.8億台湾元。前月比で11.4億台湾元も増えている。これは、景気が冷えていることを示している。悲観モードは、中下層の人たちの問題であったが、お金持ちにも、ひやっとした風が吹き寄せ始めると思われる。

■日本産メロンが15,000円で売れる

では、変わり身の早い台湾大手小売業者は、何を考えているのか。「窮人(貧乏人)放棄戦略」だそうだ。当

然、中産階級も相手にしない。金持ちだけを相手にする。そうすれば、まだまだ成長戦略がとれるらしい。実際のところ、金持ちの消費意欲は強い。この差別化戦略で、微風広場、SOGO、101など高級品市場は、まだ成長を続けている。ブランドものの服、宝飾品、時計などは、売上を伸ばしている。「M型社会」の右側だけを相手にする戦略転向である。

例えば、日本から輸入された“四角形メロン”は、一個4,500台湾元(15,000日本円)にもかかわらず、とてもホットな話題になった。微風広場では、今年1月から、6月にかけての業績が、20%成長した。中でもブランド物が占める割合が、7%から10%にも増えた。また101では、大陸観光客開放による顧客購買も増加し、おもに腕時計、宝飾品、玉、芸術品などが売れ、昨年同期比3~5%売上が増加した。台湾の金持ちと中国大陸の金持ち以外は、今、台湾では顧客と呼ばれないらしい。

■商品にストーリー性があることが、絶対条件

実際、台湾人の友人を見てみると驚く。例えば、Yさんは、マンションの一室をワインセラーにすべく室内設計図を見せてくれた。一台50万円もする、ワイン冷蔵庫を4台入れるのだ。これで数百本のワインが保存で



不景気の波は、一般市民の食卓にも大きな影響を与える。

きる。彼の購買パターンを見ていると、ワインの専門誌を見て、その中で一番良い冷蔵庫機種を選んだ。また、彼らと一緒にワイン購入に行った際、日本円で1万円以上もする高級ワインをポンポンと買ったのには驚いた。他のお金持ち達も、同じだ。実は、彼らは決して無駄なものを買わない。しかし買うときは、一番高いもの、一番ブランド力が強いものを購入している。また、同様に高級食品卸の社長と話をしたところ、もし商品の成分に“中国大陸産”と表示があった場合には購入しないと切り切った。なぜなら消費者が、“中国大陸産”と表示を見た瞬間、絶対には買わないからだそうだ。よってこれらの層にアクセスするためには、食品でも、生活用品でも、ブランドの確立、安全、安心の食材、材料、材質の使用、そして商品の生い立ちとストーリー性が、絶対条件になっている。

参考図書：中国時報、自由時報

最新上海 ～現地レポート～ ⑥

変わり行く自動車市場

日本における7月の消費者物価指数（2005年=100とする）が発表された。変動の大きい生鮮食品を除く総合指数で102.4、前年同月比2.4%上昇と高い伸び率を示した。原因の一つにガソリンの価格高騰が挙げられている。

そんな中、今年6月下旬、中国でもガソリンの価格調整が行われた。上海での価格変動は次の通りである。一番安価な90号ガソリンが1リットル当たり4.77元（≒76.3円）から5.57元（≒89.1円）、自家用車、タクシーなどに一般的によく利用される93号ガソリンが5.19元（≒83.0円）から6.05元（≒96.8円）、97号ガソリンが5.51元（≒88.2円）から6.42元（≒102.7円）といずれも高騰している。

ガソリン値上げの影響も受けてか、自動車販売台数にも変化が生じている。中国汽车工业协会の統計によると、2008年上半期の自動車販売台数は518.22万台と前年同時期比18.52%と増加となっているものの、伸び率では4.78ポイントと下回っている。普通乗用車の中では排気量1.6ℓ車種の販売が一番多く、普通乗用車全体の販売台数360.90万台のうち50.67%を占めている。一方、排気量1.0ℓ車種については下降傾向が収束になっており、小幅な増加傾向にあるという。

■自動車消費税調整

このほど中国財務部と国家税務総局は8月1日付けで、『乗用車の消費税率調整』の通達を公表した。今回の消費税率調整は、排気量1.0ℓ以下の小型車の税率の引き下げと同時に3.0ℓを超えた大型車の税率を引き上げたのが大きな特徴となっている。2008年9月1日より施行。

（表1）乗用車消費税率表

税目	旧税率	新税率
①排気量1.0ℓ以下（1.0ℓ含）	3%	1% ↓
②排気量1.0ℓ～1.5ℓ（1.5ℓ含）	3%	3% →
③排気量1.5ℓ～2.0ℓ（2.0ℓ含）	5%	5% →
④排気量2.0ℓ～2.5ℓ（2.5ℓ含）	9%	9% →
⑤排気量2.5ℓ～3.0ℓ（3.0ℓ含）	12%	12% →
⑥排気量3.0ℓ～4.0ℓ（4.0ℓ含）	15%	25% ↑
⑦排気量4.0ℓ以上	20%	40% ↑

この調整にかかる影響などについて、上海市内にある日系自動車部品メーカーに話を聞いてみたところ、次のような話を伺うことができた。環境汚染防止の名目で消費税率を変更していることは容易に伺える。排気量の多い自動車の販売台数には影響があるだろうが、小型車は優遇されるため総じて販売台数は増えるのではないかと思う、とのことである。

■国別販売状況

中国ではセダンの人気が高い。中国汽车工业协会（※）によると、2008年7月セダン販売状況が発表され、国別ブランドごとに統計が取られている。以下（表2）を見て戴いて分かるように、日本ブランド車の販売が圧倒的に多い。

（※中国国内における自動車、モーターバイクなどの生産経営活動にかかる企業・団体などから構成される組織）

（表2）

国別ブランド	台数（万台）	割合（%）
中国	8.24	22.84
日系	12.84	35.58
ドイツ系	6.78	18.78
アメリカ系	4.86	13.48
韓国系	2.19	6.08
フランス系	1.17	3.24

上海における輸入自動車販売台数についても統計が出たので、併せてお伝えしたい。上海税関の統計によると、今年1月から7月までの輸入台数は6.2万台、金額に直すと26.1億ドルとなり、昨年の同時期と比べると、輸入台数は73.4%増加、金額では81%の増加となっている。上海における輸入自動車の主力は大・中型排気量自動車であるが、これを1月～7月の排気量別に見てみると、1.5～2.5ℓのガソリン車では3.3万台（前年同時期比87%増）、3.0ℓ以上のガソリン車は2.5万台（前年同時期比）といずれも増えている。上記で述べた9月1日から大型車に対して引上げられる消費税には、ディーラーが事前に在庫を抱えるなどして大型車の輸入増加を継続させていく構えのようだ。



上海市内の様子。渋滞がひどい。

先にも紹介した日系自動車部品メーカーの話によると、上記のデータ同様、日系ブランド自動車は順調に伸びているという。しかし以前のような「出せば売れる！」といった状況ではなくなっているという声も聞かれた。今後目玉となるのがハイブリッドカーなど環境に配慮した商品ではないだろうか。今後注目していきたいところである。

（文書中、1元＝16円にて計算）

第4回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会出展の報告

長春で鳥取県をPR！

このほど、鳥取県と友好交流の覚書締結をしている中国吉林省長春市にて開催された「第4回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会」には、商品展示も含め鳥取県から7社が出展し、併せて鳥取県の観光・物流などもPRした。

この博覧会は中国でも国家級の大規模な博覧会で、今年が4回目。鳥取県は第1回から連続して参加している。昨年は、企業からの社員派遣がなかったが、今年は、昨年までの出展の効果もあり、出展企業による現地企業への訪問や具体的な商談など、成約に向けた交

渉を行うことができた。

中国東北地域は、日系の自動車企業の進出等が進み、これからますます発展する可能性を秘めており、鳥取県と吉林省との経済交流も、今後、より一層盛んになることが期待される。

鳥取県は、鳥取県産業振興機構などと連携しながら、県内企業の皆様のご要望に応じて、今回の博覧会など海外展開の機会提供を通じて、今後も支援をして参ります。



鳥取県ブースの様子

■博覧会概要

- (1) 会 期 平成20年9月2日(火)～6日(土)5日間
 (2) 会 場 中国吉林省長春市 国際会議展示センター
 (3) 主 催 中華人民共和国商務部
 国務院東北地区等旧工業基地振興指導グループ弁公室
 吉林省人民政府
 (4) 規 模 2,200ブース 全体面積7.5万平方メートル

■県内からの出展企業

企業名	出展品目
サンライズ工業(株)	あと施工アンカーボルト
(株)日本マイクロシステム	インサーキットテスター(基板検査機)
丸京製菓(株)	和菓子(どら焼き、焼きまんじゅう)
(株)ゼンヤクノ	タンポポコーヒー、はま茶、黒豆茶
(有)エー・オー・エヌ ケミカル	梨酢
(株)澤井珈琲	コーヒーパック、氷温甘熟珈琲、紅茶、トリゴコーヒー
(株)モチカセ	抗ウイルスマスク

【鳥取県商工労働部経済・雇用政策総室通商物流チーム 坂本】

編集後記

9月5日～10日、台湾・台中県豊原市の百貨店で鳥取県の観光物産展「鳥取週間」が開催されました。県内の11企業・団体が特色ある県産品を並べ、来場者に積極的に試食・試飲をすすめてアピールをしました。台中県では初の試みであり、物産展が始まる前までは、誰もが不安を抱いていましたが、初日から来場者の反応は良く、二日目で品切れとなる商品まであり、まさに嬉しい悲鳴でした。

台北や高雄などの大都市では、既に日本食がかなり浸透していますが、台中県のように未開拓の市場では、地元のスーパーや百貨店には置いていない初めての「日本食」に興味を持つ消費者が多くいるのです。【r】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望(無料)の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：(財)鳥取県産業振興機構企業支援部
 海外支援グループ(担当：早川)

E-mail: kaigai@toriton.or.jp
 TEL: 0857-52-6703 FAX: 0857-52-6782

とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■(財)鳥取県産業振興機構企業支援部
 海外支援グループ
 TEL 0857-52-6703

■JETRO鳥取貿易情報センター
 TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

■(株)さかいみなと貿易センター
 TEL 0859-47-3900
 ■境港貿易振興会
 TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局
 TEL 0859-42-3705
 ■JETRO貿易相談デスク
 TEL 0859-45-2203